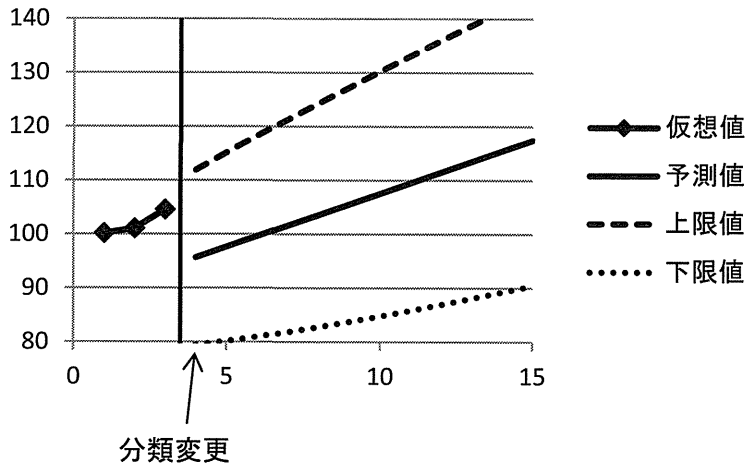
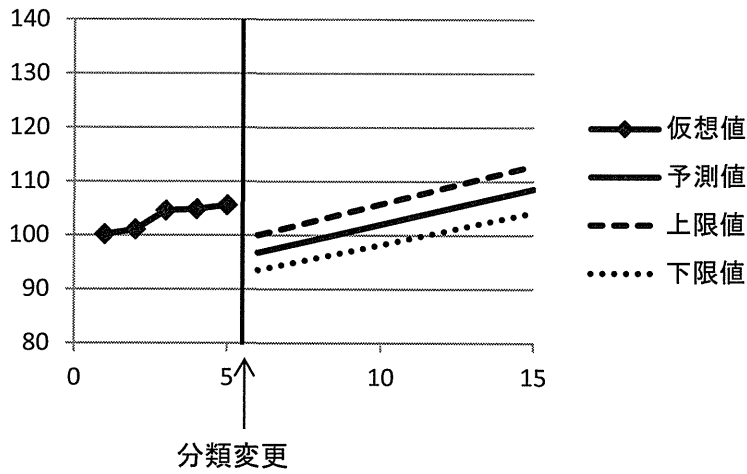


図5 基本パターンのシミュレーション(3)
 (分類変更の影響が中程度の場合、 $C=0.05$ 、時系列データのばらつきが少ない場合)
 (上限値、下限値は予測値の95%信頼区間)

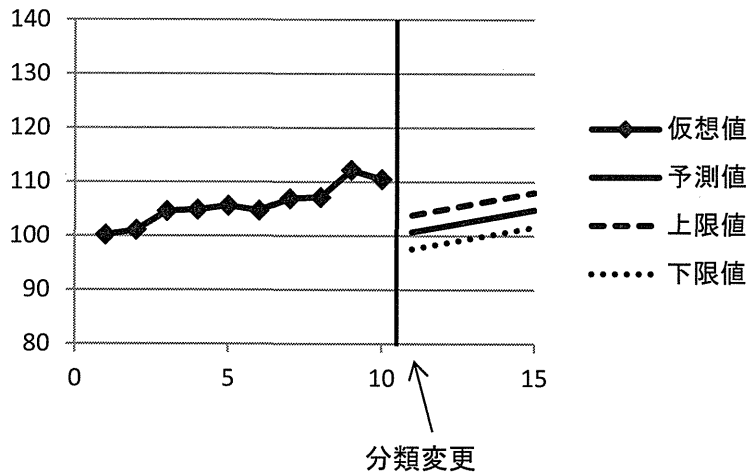
死亡率または発生率など(0年を100とする)



※3年の時系列データに基づいて12年後までを予測する場合



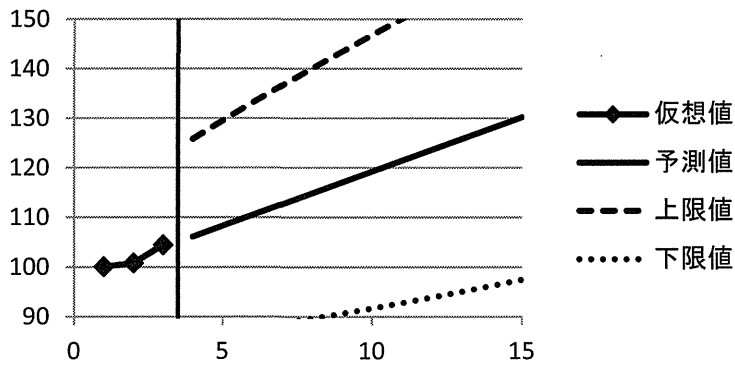
※5年の時系列データに基づいて10年後までを予測する場合



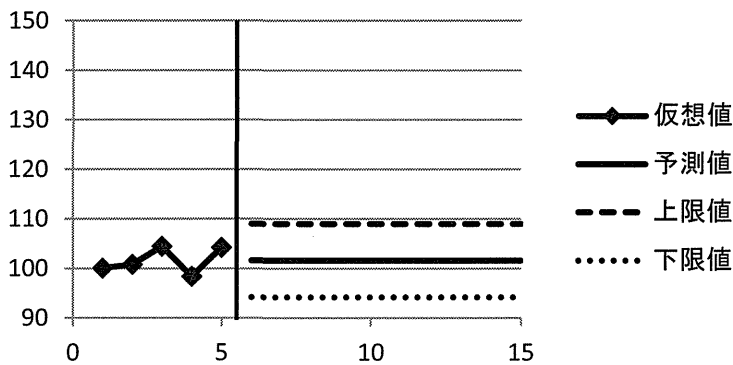
※10年の時系列データに基づいて5年後までを予測する場合

図6 基本パターンのシミュレーション(4)
 (分類変更の影響が大きい場合、 $C=0.1$ 、時系列データのばらつきが少ない場合)
 (上限値、下限値は予測値の95%信頼区間)

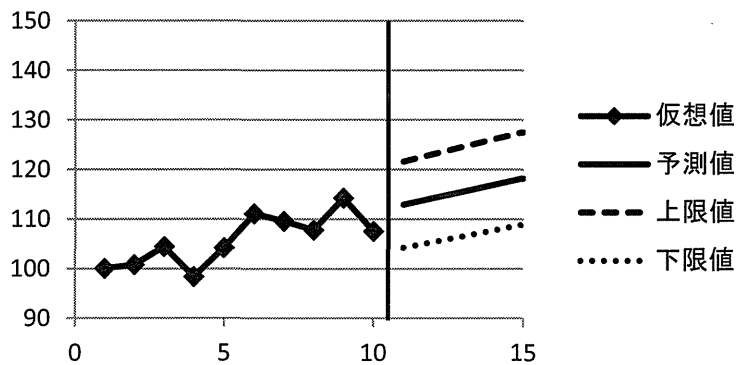
死亡率または発生率など(0年を100とする)



※3年の時系列データに基づいて12年後までを予測する場合



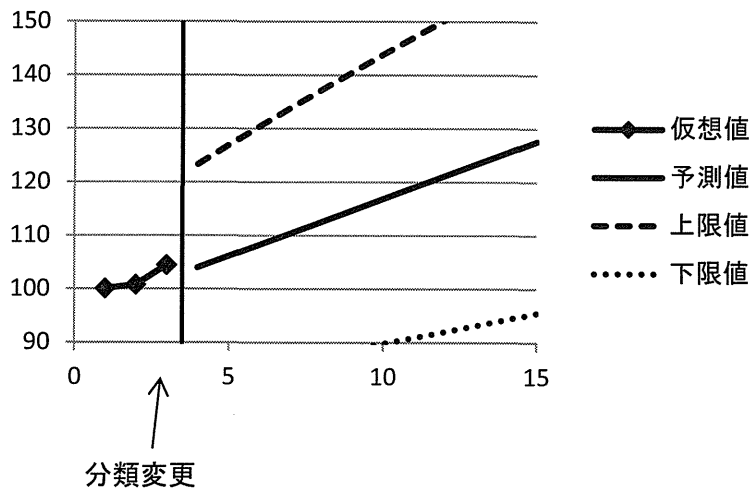
※5年の時系列データに基づいて10年後までを予測する場合



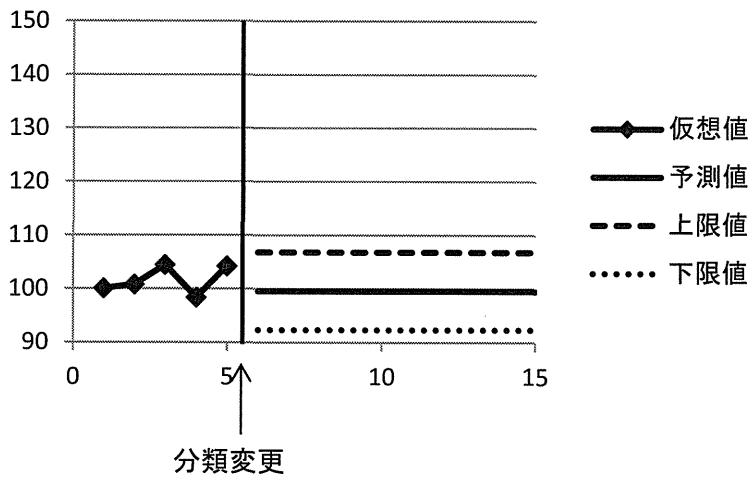
※10年の時系列データに基づいて5年後までを予測する場合

図7 基本パターンのシミュレーション(5)
 (分類変更がない場合、 $C=0$ 、時系列データのばらつきがやや大きい場合)
 (上限値、下限値は予測値の95%信頼区間)

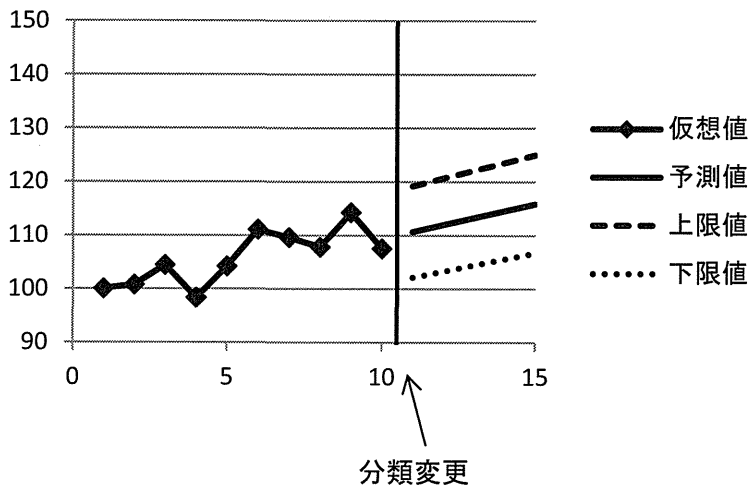
死亡率または発生率など(0年を100とする)



※3年の時系列データに基づいて12年後までを予測する場合



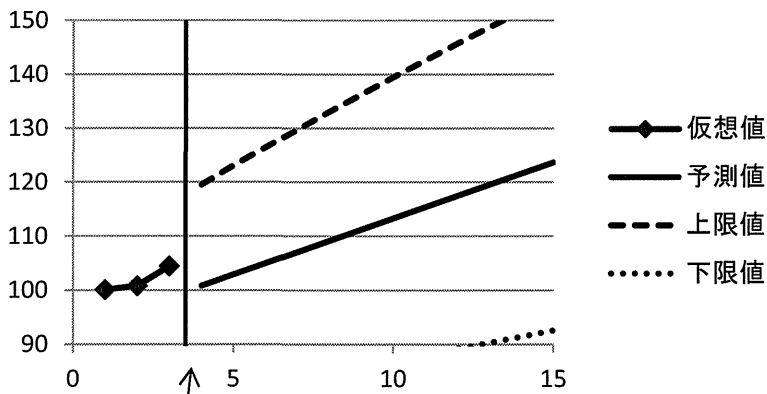
※5年の時系列データに基づいて10年後までを予測する場合



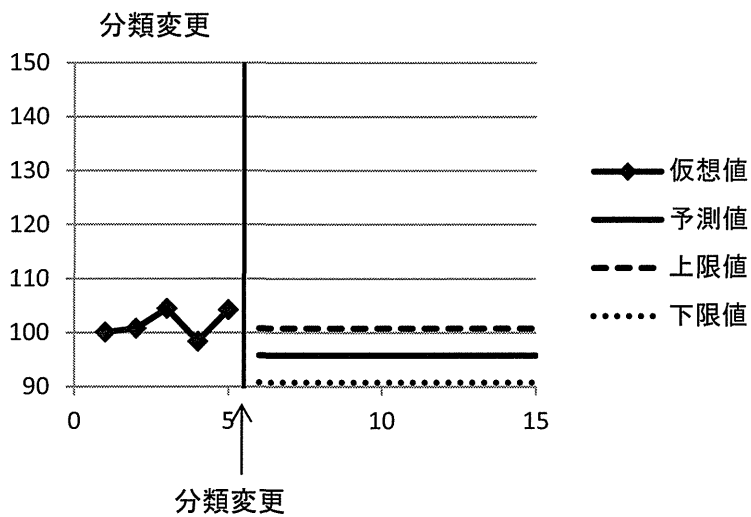
※10年の時系列データに基づいて5年後までを予測する場合

図8 基本パターンのシミュレーション(6)
 (分類変更の影響が小さい場合、 $C=0.02$ 、時系列データのばらつきやや大きい場合)
 (上限値、下限値は予測値の95%信頼区間)

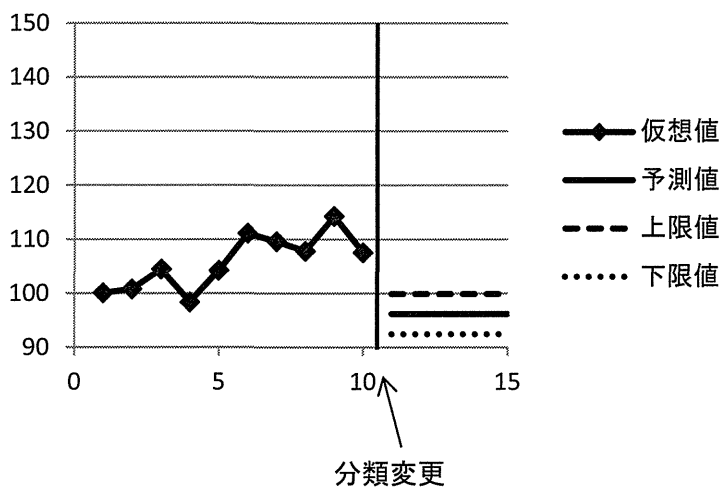
死亡率または発生率など (0年を100とする)



※3年の時系列データに基づいて12年後までを予測する場合



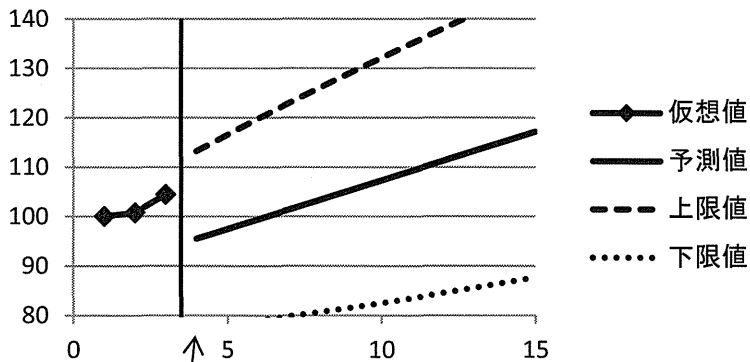
※5年の時系列データに基づいて10年後までを予測する場合



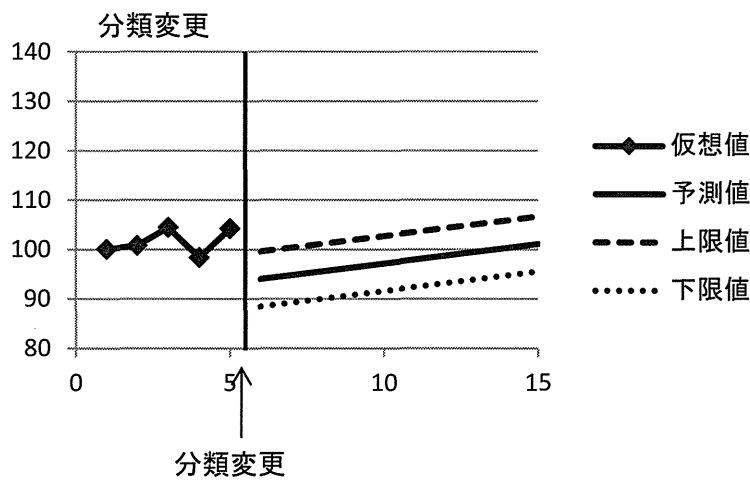
※10年の時系列データに基づいて5年後までを予測する場合

図9 基本パターンのシミュレーション(7)
 (分類変更の影響が中程度の場合、 $C=0.05$ 、時系列データのばらつきがやや大きい場合)
 (上限値、下限値は予測値の95%信頼区間)

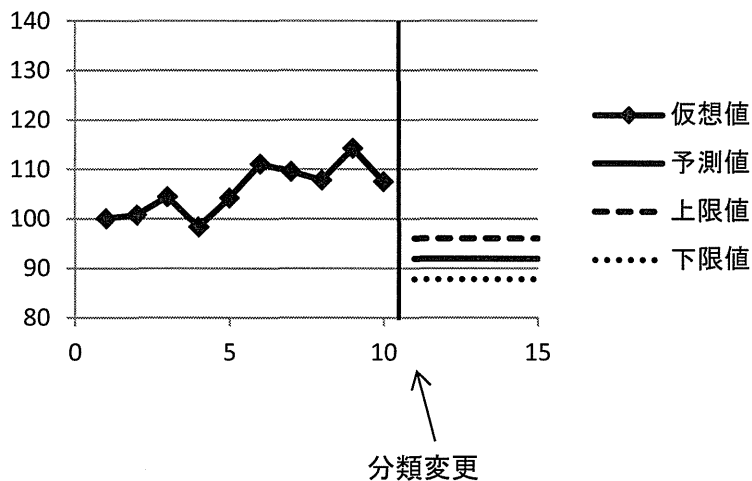
死亡率または発生率など(0年を100とする)



※3年の時系列データに基づいて12年後までを予測する場合



※5年の時系列データに基づいて10年後までを予測する場合



※10年の時系列データに基づいて5年後までを予測する場合

図10 基本パターンのシミュレーション(8)
 (分類変更の影響が大きい場合、 $C=0.1$ 、時系列データのばらつきがやや大きい場合)
 (上限値、下限値は予測値の95%信頼区間)

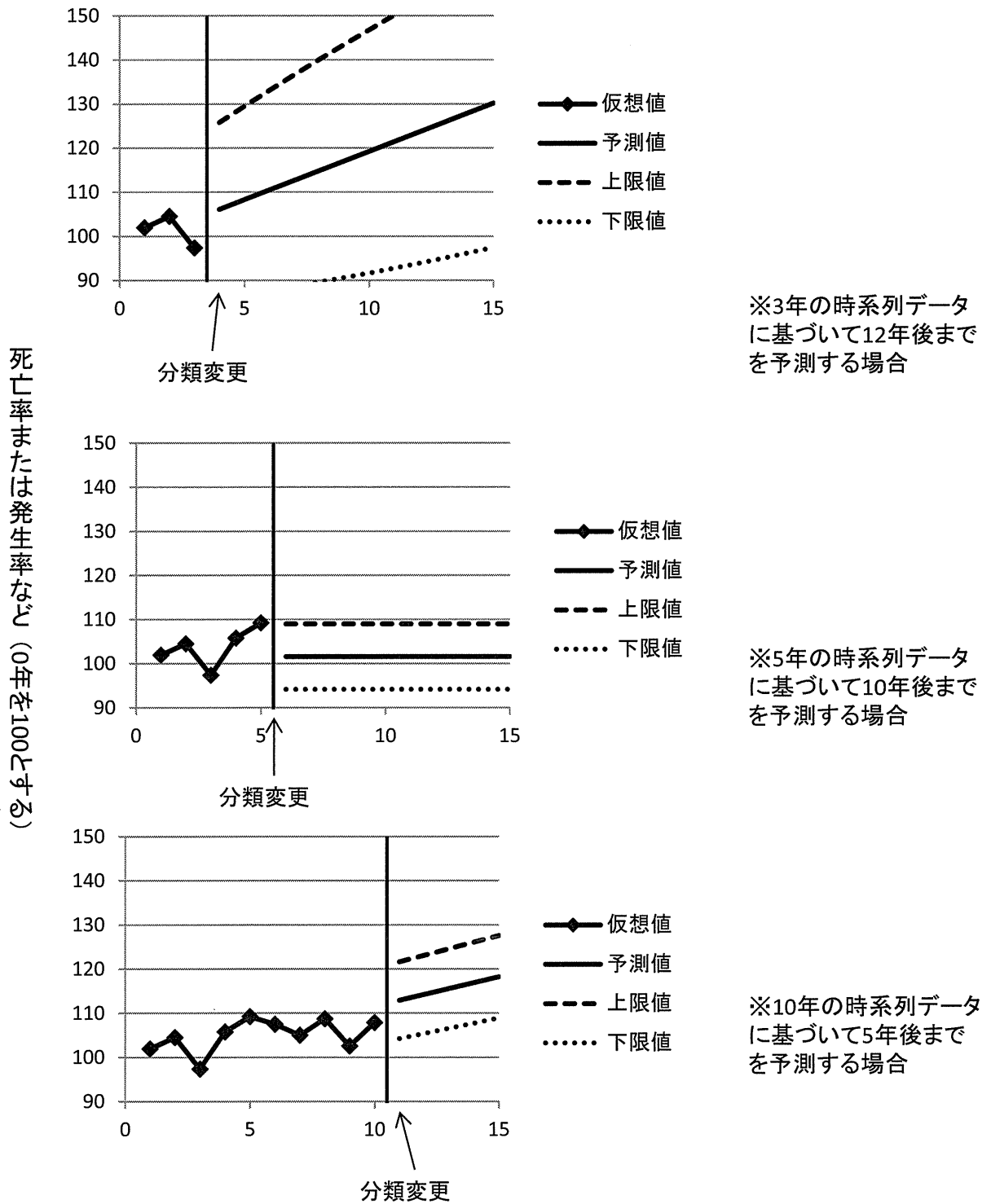


図11 基本パターンのシミュレーション(9)
 (分類変更の影響がない場合、 $C=0$ 、時系列データのばらつきが非常に大きい場合)
 (上限値、下限値は予測値の95%信頼区間)

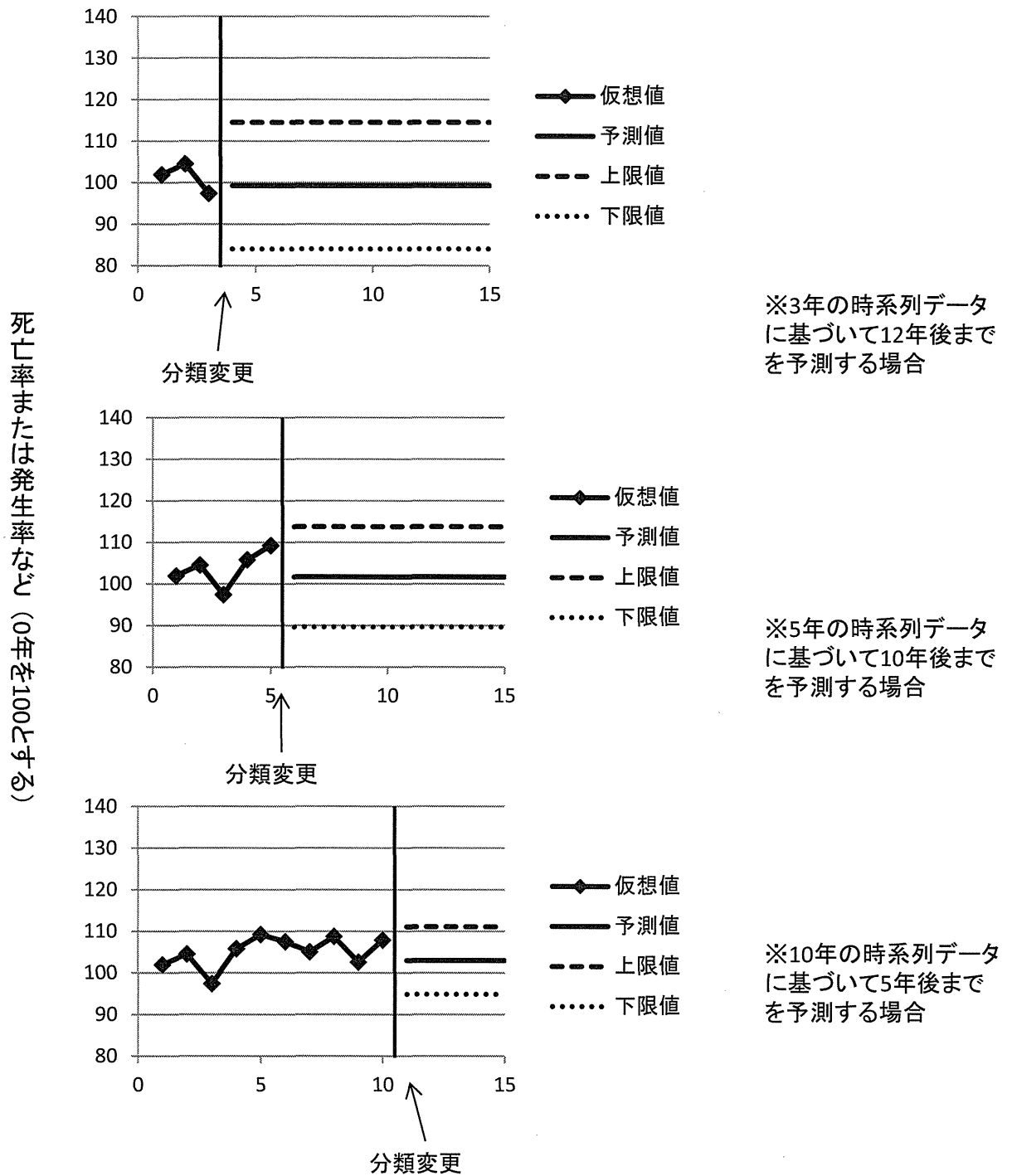
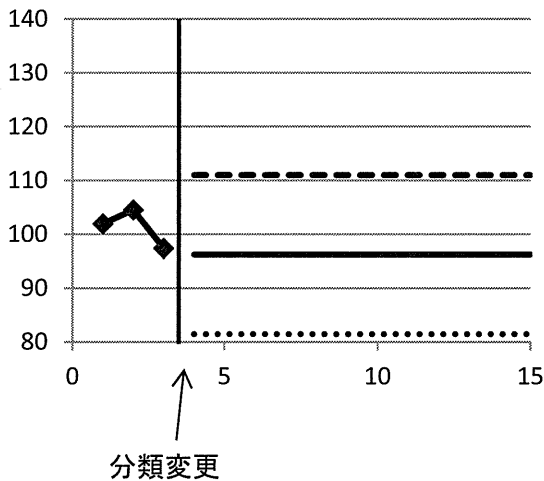
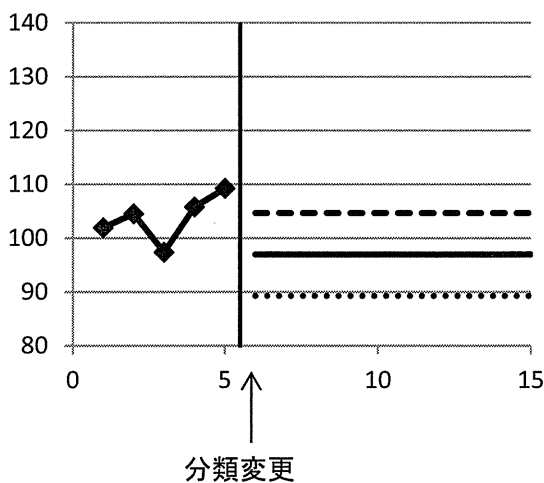


図12 基本パターンのシミュレーション(10)
 (分類変更の影響が小さい場合、 $C=0.02$ 、時系列データのばらつきが非常に大きい場合)
 (上限値、下限値は予測値の95%信頼区間)

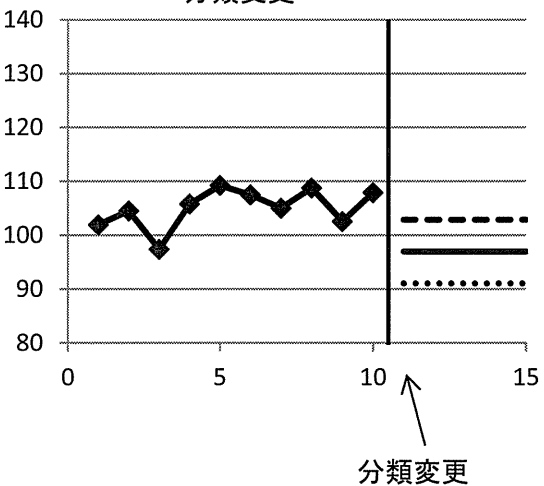
死亡率または発生率など（0年を100とする）



※3年の時系列データに基づいて12年後までを予測する場合



※5年の時系列データに基づいて10年後までを予測する場合



※10年の時系列データに基づいて5年後までを予測する場合

図13 基本パターンのシミュレーション(11)
 (分類変更の影響が中程度の場合、 $C=0.05$ 、時系列データのばらつきが非常に大きい場合)
 (上限値、下限値は予測値の95%信頼区間)

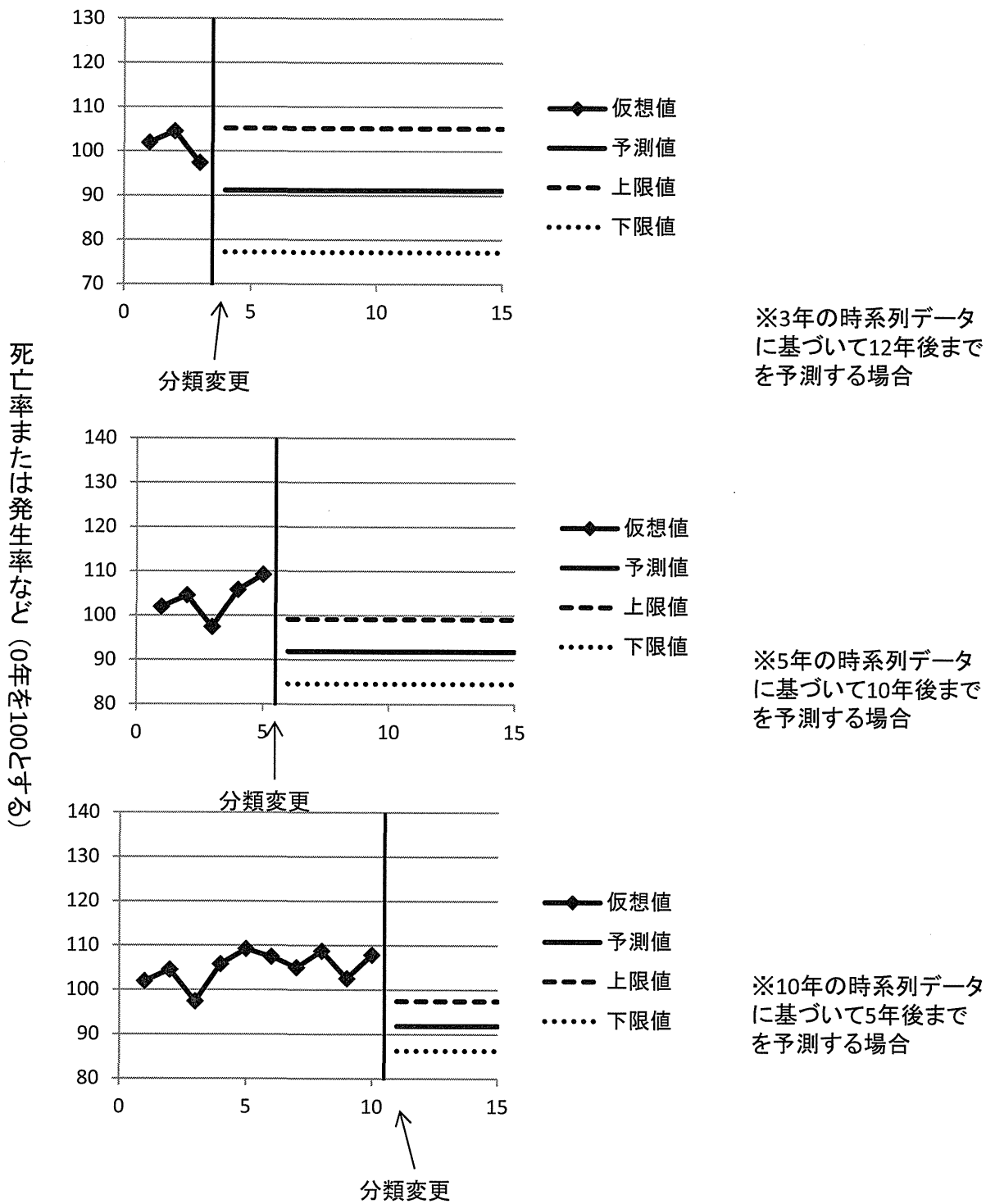


図14 基本パターンのシミュレーション(12)
 (分類変更の影響が大きい場合、 $C=0.1$ 、時系列データのばらつきが非常に大きい場合)
 (上限値、下限値は予測値の95%信頼区間)

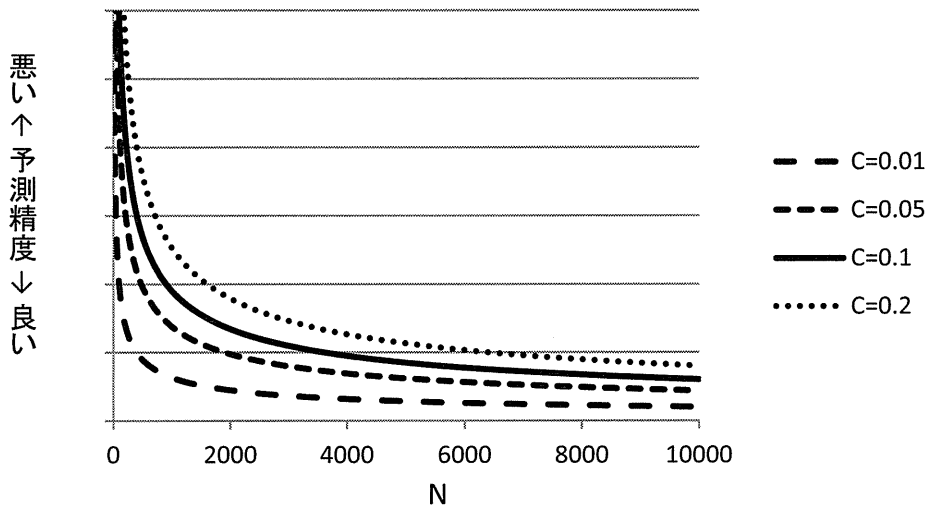


図15 「分類該当者数(N)」と「予測の精度」(推定値の標準誤差)との関係
(Nが大きいかほど推定精度が高い)

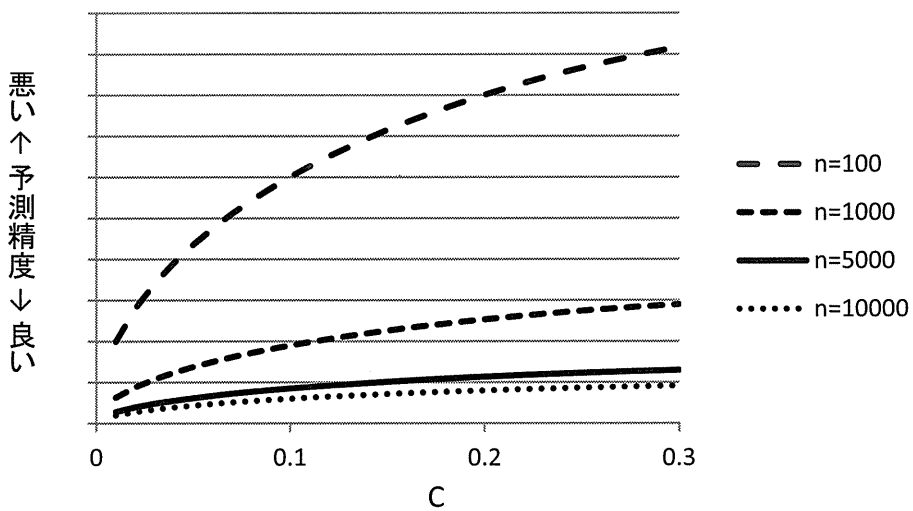


図16 「変更により分類が変わる人の割合(C)」と「予測精度」(推定値の標準誤差)との関係
(Cが小さいほど推定精度が高い)

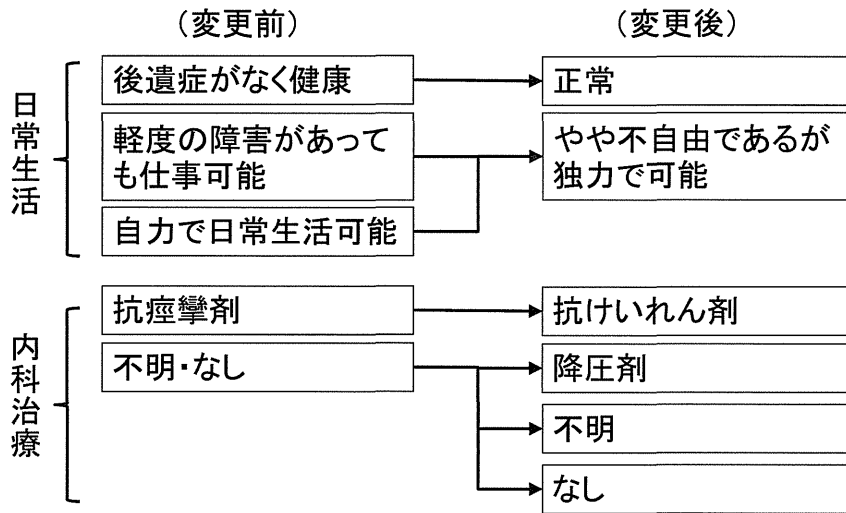


図17 ある難治性疾患における分類変更

2003年の途中に分類変更が行われた。2001年から2008年までの集計データにモデルを適用。

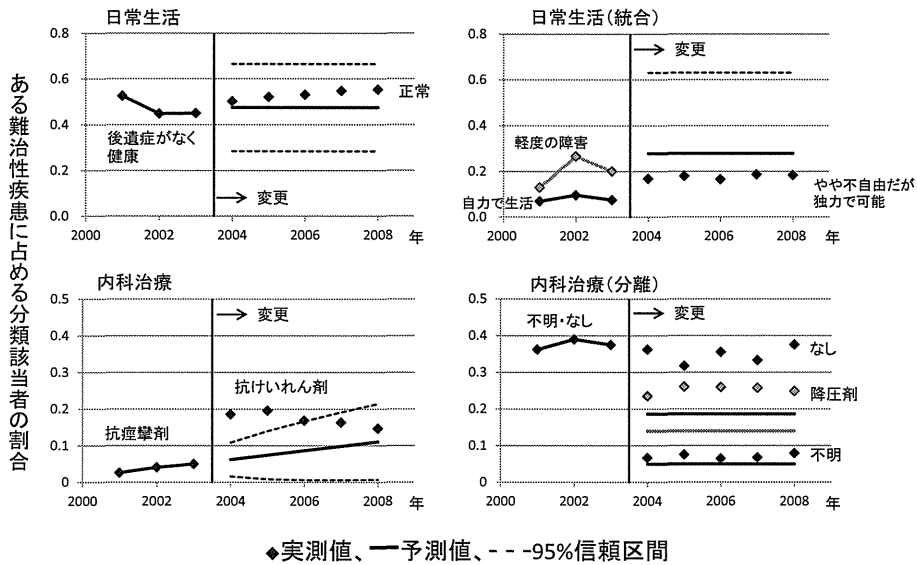


図18 ある難治性疾患における分類変更の影響解析
(2001~2003年のデータを用いて2004~2008年を予測)

悪性新生物の例(C83.3～C83.6)

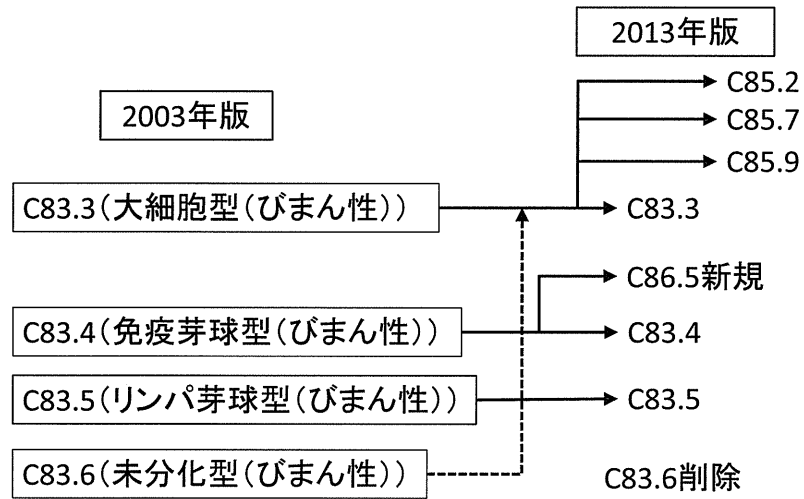


図19 ICD-10(2003年版)からICD-10(2013年版)への改訂の人口動態統計、患者調査等への影響(検討中)

